

大 学 史 研 究 通 信

第 88 号 2017 年 3 月 31 日 (金)

大学史研究会

第 88 号の内容：新入会員自己紹介・第 40 回大学史研究セミナーのお知らせ・会費納入のお願い・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・事務局からのお知らせ・大学史研究会事務局員一覧

新入会員自己紹介

蝶 慎一 会員 (東京大学大学院 教育学研究科)

このたび新しく入会させていただきました蝶慎一と申します。学部生の頃は、教育学、教育社会学などを学び、大学院では引き続きフルタイムの学生として東京大学大学院教育学研究科で高等教育、大学政策を専攻してまいりました。主な研究関心・テーマは、戦後初期の大学史、学生支援、大学の質保証・評価です。これまで個人研究としましては、戦後初期の日本の学生支援(厚生補導)の形成プロセスを歴史的に検討してまいりました。また、日米両国の大学アーカイブズにおける史料の調査・発掘・収集にも関心を持っております。どうぞよろしくお願い致します。

小谷 将義 会員 (関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科)

このたび入会を許可いただきまして、ありがとうございます。小谷将義(こたにまさよし)と申します。何卒よろしくお願い致します。この3月、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科経営戦略専攻を修了いたしました。

上記大学院に課題研究論文(実質的な修士論文)、「戦前期旧制私立大学における人材育成の今日的意義」を提出し、修士号(経営管理)を取得いたしました。

明治維新から大東亜戦争終結までの期間における高等教育機関の整備・発展について、近代日本において旧制私立大学がどのような過程を辿り大学へと昇格していったか、またどのような発展を遂げていったかについて、旧制私立大学のひとつであった東洋協会大学(台湾協会学校の後身、現在の拓殖大学)をその事例として取り上げ、検証・考察し、課題研究論文に纏めました。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

<異動に伴う会員情報更新の届出をお願いいたします>

所属や住所等に変更のある会員は、事務局までご一報ください。ホームページ掲載の「事務局連絡先」フォーム、あるいは年会費払込票(郵便口座)の「通信欄」を利用することも可能です。(会員情報担当：浅沼薫奈)

第 40 回大学史研究セミナーのお知らせ

2017 年秋に実施予定の大学史セミナーに関し、山本珠美会員にお願いいたしましたところ、ご快諾いただきました。以下、山本会員からのお知らせです。

(事務局代表：岡田大士)

第 40 回大学史研究セミナーの会場を担当させて頂くこととなりました。

香川大学は高松市と三木町にある 4 つのキャンパスからなる総合大学です。今回会場となる幸町キャンパス(教育・法・経済学部)には、戦前、前身校の高松高等商業学校と香川師範学校がありましたが、昭和 20 年 7 月 4 日未明の高松空襲にてほぼ全焼という憂き目に遭ってしまったため、明治・大正・昭和戦前期の様子を物語る建物は一棟も残っていません。

戦後発足した新制大学においては、戦前は制度外存在であった各種取組が法律上の位置づけを得ました。その一つが公開講座です。高松高商は、当時「成人教育講座」と呼ばれた地域住民への学習機会の提供を最も熱心に行っていた高等教育機関の一つでしたが、戦後体制が変わってからも途切れることなく取り組んできました。昭和53年に設置された生涯学習教育研究センターは国立大学の同種のセンターとしては東北大学、金沢大学に次ぐ全国3番目に設置された施設で、高松高商・香川大学経済学部が長年継続してきた取組を全学的に推進する組織として誕生しました。以来、大学の所謂「第三の機能」（社会貢献、地域貢献）を担当する部局として40年近くの歴史を持っています。本学を含む各大学の生涯学習センターの歴史的検証が、現在、全国国立大学生涯学習系センター研究協議会で進められているところです。

四国で大学史研究セミナーが開催されるのは今回がはじめてのことです。四国にはお遍路さんを「お接待」する伝統があります。皆様が快くセミナーを過ごせるよう、準備を進めてまいります。多くの会員のご来場をお待ちしております。

(山本珠美会員)

2016年度までの年会費未納の方へ —納入のお願い—

大学史研究会の収入は、会員各位からの年会費（一般会員：5,000円、大学院在学・日本学術振興会特別研究員：3,000円）に大きくよっております。2016年度の全会員数に対する年会費納入率は64%であり、未納の会員も少なからぬ状況です。

年会費3ヶ年度分以上の滞納の会員各位につきましては、研究会への継続参加のご意志を年会費納入によって確認できるまで、大学史研究会からの諸連絡や「研究通信」、『大学史研究』（紀要）等の発送を停止する規定になっております。該当する会員各位へのご連絡通知にはこの点も記載されておりますので、こちらもご留意願います。

なお、本通知と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

(会計担当：山崎慎一)

— 年会費納入払込先 —			
郵便振替口座	: 大学史研究会	口座番号	00120-3-47583
または			
銀行口座	: 大学史研究会	三井住友銀行	池袋東口支店 (店番 671)
			普通預金 (口座番号 3456109)

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

遅れております『大学史研究』26号、27号の編集作業を行っております。この間編集委員長と事務局で対応が遅れており、誠に申し訳ありませんでした。次回の編集委員会は5月上旬を予定しており、それに限らず随時査読を含めたやり取りを行ってまいります。次回の編集委員会に間に合うような原稿をお持ちの方は、事務局紀要担当の岡田まで (email: daishi@home.nifty.jp) ご連絡ください。

(紀要担当：岡田大士)

事務局からのお知らせ

大学史を専門とする（これからしようとする）研究者のために、勉強会を開催しようかと考えており、2月23日に集まった何名かで運営の仕方を検討しました。そこで検討されたのは、(1)日程は最終週の金曜に設定する(2)外国語の文献にこだわらず国内の文献も対象にするということで、要するに継続を意識し、もっと参加しやすい工夫をせよということでした。

そこで、次回の勉強会を4月28日（金曜）に設定することにしました。会場は引き続き中央大学後楽園キャンパス6号館の教室を借りることにします。ひとまず岡田から、最近話題の「戦争と大学での研究」にちなみ、戦時中の日本における状況がわかるような資料紹介をしつつ、参加者の意見を伺えたらと考えます。本勉強会に関連する情報は、facebook ページ <https://www.facebook.com/groups/daigakusi/> に掲載していきます。関連して、中央大学にて Perspectives on the History of Higher Education のバックナンバーを購入し、論文紹介等ができるような準備をしています。研究論文等でお読みになりたいものがあれば、岡田にご連絡ください。

（事務局代表：岡田大士）

編集後記

2016年度最後の『通信』をお送り致します。当初は先月末の発行を予定しておりましたが、間隔を調整するためもあり、年度末に変更致しました。事後報告をお許しください。

（通信担当：長谷部圭彦）

『大学史研究通信』第88号の編集は、事務局・長谷部圭彦が担当いたしました。

連絡先：hasebekiyohiko@hotmail.com

『大学史研究通信』第89号は、2017年6月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

<事務局連絡先>

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

中央大学法学部 研究室受付 岡田大士気付 大学史研究会

Tel&Fax: 042-674-3151 E-mail: daishi@home.nifty.jp

ホームページ <http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表 E メールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe@daigakushi.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）

浅沼 薫奈（大東文化大学）

岡田 大士（中央大学）

長谷部 圭彦（早稲田大学）

深野 政之（大阪府立大学）

船勢 肇（大阪芸術大学・阪南大学）

山崎 慎一（桜美林大学）

山本 尚史（長崎女子短期大学）